

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	賀茂みどりの樹			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		～	2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的にアセスメント及びモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	問題が発生した時には、その都度振り返りをしながら計画の見直しし、話し合いを行いながら計画を立案し実行している	問題発生時のみならず、日ごろの子供たちの様子を見ながら、PDCAサイクルを実行していきたい
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	記録をとることの重要性を職員で共有して、記録をとる習慣を徹底している	今後は、手書きやPCでの入力、ソフトの導入など、いろいろな角度から記録の有効活用を検討していきたい
3	放課後等デイサービス提供を作成する際に、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。	子供の最善の利益の優先を考慮して、子供や家族の意向を送迎時や保護者からの相談の機械を通じて確認している。	保護者との個別懇談の機会を設けて、子どもの最善の利益を考慮しながら療育に反映させていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の地域の子供たちとの交流ができていない	現状として、立地の関係でも（他運営施設の内部にある状況）、地域の他の子どもを招くなどの活動する機会は難しく、設けられていない。	お借りしている施設の方とも、相談等を行い、地域の子供たちとの交流もおこなっていききたい
2	子供の年齢が全体的に高くなってきたこともあり、部屋のスペースが狭いと感ずることもある	開設当初は、年齢も低く体も大きくなかったため、そこまで気にならなかったが、年数もたち、継続利用される児童も増えてきて、	構造化しているスペースを工夫して、デッドスペースや時間帯でスペース確保したりして、有効活用をしていきたい
3	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討があまり進んでない	日々の活動などでの、ヒヤリハット案件の抽出・収集を進めていく	ヒヤリハット案件が、でてくる環境を整えたうえで、統計や改善点を把握して、再発防止に向けた施策をすすめていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 賀茂みどりの樹

公表日 2025年 2月 12日

利用児童数 27

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20		1		外遊びや室内での運動遊びが不便そう 気候等で使用できなかったり	体調等の変化に気を付けて、可能な限り 外遊びを行える環境を整えていきたい
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				個別支援計画の説明ですが、時間を頂いて ゆっくりお話できるようになったのは、 個人的にいいと思う	今後も個別支援計画の説明など、時間を 取り納得していただけるように努めてい きたい
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	7	9	子どもによっては交流を避けたい子もい ると思うので難しいと思う	立地的に難しい面もありますが、機会が ありましたら、交流する機会をつくって きたい
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	2	7		今後にむけて、研修会や情報提供の機会 を設けていきたい
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	3	10		今後にむけて、保護者会の開催や研修会 や情報提供の機会を設けていきたい

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	4		5	子供がどのように利用しているか見学しに行きたいが、子供が嫌がったりと普段の利用の様子が見れません 個人宛に普段の写真を送ってくれることがあり、普段の様子がわかっていいと思う	見学等、希望があれば対応をいたしたいです また、活動の内容なども様々な媒体で発信していきたい
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1				避難訓練は実施しておりますが、その情報発信も検討いたします
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	2			困りごとを話せるようになり、家庭以外でSOSを出せるようになった	安心できる環境づくりを整えていきたい
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2		1	工作等の活動を楽しみにしている	今後も活動内容を検討して、楽しんでいただけるように努めていきたい
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2025年 2月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	部屋の構造を変えたことで過ごしやすくなった	子どもたちが大きくなり、部屋の狭さを感じることがある 再度、配置などを変える必要があるかもしれない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	建物構造上バリアフリーにはなっていないが、現状は困っていない		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃は毎日行い、衛生的に保たれている 空気清浄機の設置、消毒も行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	構造化を実施している クールダウンや休息等必要に応じて対応している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年アンケートを行い、公表している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	何かあれば都度話をするようにしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者による外部評価は実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	個人でうけたり、職場内研修を行っている 毎月研修の時間を作ったり個人で研修に参加している	勤務日と重なると人員の関係もあり、受講が難しい（受けたいのに受けられないことがある）	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	チェックシートを活用 日々の記録をつけている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		長期休暇時は事前に話し合いを行っているが、平常時は難しいときがある	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		長期休暇時は事前に話し合いを行っているが、平常時は難しいときがある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	毎日の朝礼で役割分担について確認している	支援の内容については、確認、連携が難しい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	記録を書くことで情報を共有している	できる時はしているが、毎日となると難しい 十分であるとは言えない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択をする機会がある場合、絵や文字、具体物などを使用しながら選択しやすいように支援をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に担当者や児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校との共有は難しいが、保護者に確認したり、学校のHPで確認している。そのため急な変更では保護者からの連絡が必須となる	送迎時の連絡調整がうまく行えていない時がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		要望があれば、おこなう
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		対象児童がいない 連携の機会がほぼない 今年度はいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現状、地域の他のこどもと活動する機会はまだうけていない。立地の関係でも（施設の内部にある）難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		人員の関係もあり、積極的に参加は難しい状況である
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	送迎時や連絡ノート、支援計画の説明時などに伝えるようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		事業規模などもあり、家族に対して家族支援プログラムや家族で参加できる研修の機会の提供はできていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	可能な限り行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	できる限り対応するようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	何かあればLINEなどを活用している	通信はできていない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	必要に応じて連絡したり、LINEやメモなどで伝えるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		消防訓練は実施しているが、その他の事故や緊急事態発生を想定した訓練は今後の課題である
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		子どもがいる時の訓練は行っておらず、想定で実施しているので、完璧とはいえない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	保護者からの申告で確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	食事の提供はしていないため、対応していない	保護者からの申告のみで、医師の指示書に基づく対応はしていない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	5		安全計画を策定中であり、今後安全管理に気をつけて支援を行っていきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	5		安全計画を策定中であり、今後安全管理に気をつけて支援を行っていき、その旨家族にも周知していききたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	4	口頭では共有するようにしている	ヒヤリハット案件の抽出・収集がとりあえずの課題である
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		